

令和5年度 自己評価集計結果

幼保連携型認定こども園

浜三沢保育所

実施期間 令和6年2月6日～令和6年2月14日

自らの教育・保育実践を振り返り、自己評価をすることを通して、専門性の向上や改善に努めるため自らの教育・保育指導計画に書かれたねらいと内容、援助の振り返りを実施し集計しました。

集計結果 対象人数:13名 ※正職員:11名、パート職員(午前):2名

評価基準		a できている	b ほぼできている	c あまりできていない	※集計人数		
					a	b	c
総則	1-1	入所している子どもの最善の利益を考慮して教育・保育にあたっていますか	12	1	0		
	1-2	「教育・保育の内容に関する全体的な計画」に基づき、目標を定め教育・保育を行っていますか	11	2	0		
	1-3	子ども一人一人の人格を尊重し、自らの人間性や専門性の向上につとめ豊かな感性と愛情をもって教育・保育にあたっていますか	11	2	0		
子どもの発達	2-1	子どもの発達は豊かな心情・意欲・態度を身に着け、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか	12	1	0		
	2-2	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を理解し、子どもの発達の連続性に配慮して教育・保育をしていますか	11	1	1		
教育・保育目標 学年の重点	3-1	各学年の重点は保育所の教育・保育目標から、各年齢ごとに立てている事を理解していますか	12	1	0		
	3-2	教育・保育は「養護」と「教育」が一体となって展開されることに留意していますか	12	1	0		
養護に関する ねらいと内容	4-1	朝の健康観察を丁寧に行ったり、一人一人の平常の健康状態を把握し、生活リズムが整うようにしていますか	12	1	0		
	4-2	子どもの特性や発達過程を踏まえ、身の回りの清潔や安全の習慣が身につくように支援していますか	12	1	0		
	4-3	基本的生活習慣の自立が身に付き、健康、安全への意識が高められる教育・保育をしていますか	12	1	0		
	4-4	子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけ、子どもの心の安定につなげていますか	9	4	0		
	4-5	保育教諭等の温かく受容的な雰囲気や関りが、子どもの自信や自己肯定感を育むことを理解して教育・保育をしていますか	12	1	0		

評価基準		a できている	b ほぼできている	c あまりできていない	※集計人数		
					a	b	c
教育に関する ねらいと内容	5-1	保育教諭が率先して体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮していますか	12	1	0		
	5-2	保育教諭は子どもにとって最も身近な人的環境であるとともに、すべての言動が子どもにとってモデルになっていることを常に意識していますか	11	2	0		
	5-3	子ども同士が力を合わせて取り組む姿や協力して遊びを発展させていく姿を十分に認め、集団意欲を高める関わりをしていますか	11	2	0		
	5-4	子どもが見通しをもって意欲的に行動できるように、また快適に生活するための約束事をわかりやすく伝える工夫をしていますか	12	1	0		
	5-5	身近な自然に触れ、「どうして」という疑問に対して美しさや不思議さに気づけるよう配慮し、「なぜ?」という疑問に対して一緒に考えたり調べたりしていますか	9	4	0		
	5-6	子ども同士が思ったことを相手に伝えたり、相手の思いにも気づけるよう援助をしていますか	11	2	0		
	5-7	信頼できる相手に伝えたいという気持ちが発語を促すことを理解し、子どもの表情や姿をよく観察し、その場に応じた言葉かけをしていますか	11	2	0		
	5-8	子どもの発達や理解力、生活経験に合わせた言葉で教育・保育していますか	10	3	0		
	5-9	子どもが保育教諭にわからないことを聞いたり、楽しい経験を話すなど安心して話せる雰囲気を作っていますか	11	2	0		
	5-10	「ありがとう」「ごめんなさい」など生活に必要な言葉を使えるように教育・保育をしていますか	13	0	0		
	5-11	「貸して」「いいよ」など生活の中で必要な言葉を知らせ、それを理解して使う事ができるように配慮していますか	12	1	0		
	5-12	歌ったり踊ったりして音や動きの楽しさや、様々な色・形・手触りに気づき、心地よさを感じる機会を作っていますか	11	2	0		
	5-13	糊・ハサミなどいろいろな道具の使い方を一人一人丁寧に教えたり見守ったりしていますか	8	5	0		
	5-14	毎日の生活の中で、図形や数量、前後左右、遠近などの違いや時刻などに関心が持てるような環境構成に配慮していますか	9	4	0		
	5-15	教育・保育が、小学校以降の学習や生活の基盤につながることに配慮し、就学に向けて円滑な接続ができるよう小学校との連携を図っていますか(知っていますか)	12	1	0		

評価基準		a できている	b ほぼできている	c あまりできていない	※集計人数		
					a	b	c
保育の計画 及び評価	6-1	保育所の「教育・保育理念」「教育・保育目標」全体的な教育・保育計画などを 分かっていますか	11	1	0		
	6-2	指導計画は「全体的な教育・保育の計画」に基づいて作成していますか	10	2	1		
	6-3	行事は、その保育上の意義を検討したうえで、指導計画に組み入れていますか	9	3	1		
	6-4	指導計画(年間・月・週)が実際の子どもの姿・心情・意欲・態度に合っているか自己の保 育を振り返り、反省評価及び改善をしていますか	8	4	1		
	6-5	指導計画の反省評価及び改善点は、次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか	10	2	1		
	6-6	その日あった出来事や気になる子どもの様子などを、その子どもに関する他の 職員と共有することができますか	12	1	0		
食育	7-1	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるよう雰囲気づくりや配膳の手伝いなど食事 に興味を持てる工夫をしていますか	11	2	0		
	7-2	子どもたちが、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう 心掛けていますか	12	1	0		
	7-3	野菜の栽培、クッキングを行う際、絵本・紙芝居等を利用して食に興味を持てるよう工夫 していますか	10	3	0		
	7-4	食育の計画に基づいて、食育に関する取り組みを実践していますか	10	3	0		
健康と安全	8-1	身長・体重等の測定や内科・歯科健診から、発育・発達の状態を把握して、 それを保護者や他の職員に伝えるとともに、日常の教育・保育に活かしていますか	11	2	0		
	8-2	子どもの些細な体調の変化や異常に速やかに対応するために、普段の体調や機嫌 の状態をつかむよう努めていますか	12	1	0		
	8-3	子ども一人一人の体調をしっかり把握し、食事の量や内容を変えるなどの配慮をして いますか	13	0	0		
	8-4	睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に 努めていますか	11	1	1		
	8-5	食物アレルギーの子どもに対して、家庭と連携しながら除去食などの配慮を行い、 誤食の予防対策に沿った対応をしていますか	13	0	0		
	8-6	日頃から虐待の早期発見を心がけ、虐待が疑われる場合には、所長に伝える などの防止策を考えていますか	11	2	0		
	8-7	保育室内の物の転倒防止、落下その他事故が起こらないように、あなたの 保育室内外の安全点検を、毎日怠らないように努めていますか	10	3	0		
	8-8	地震等の災害や火災に備え、積極的に避難訓練等に参加し、非常災害時に あなたが何をしなければならないか理解していますか	12	1	0		
	8-9	不審者が侵入した場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を日頃から心がけ、 職員間で話し合っていますか	8	5	0		

評価基準		a できている	b ほぼできている	c あまりできていない	※集計人数		
					a	b	c
保護者に対する支援	9-1	一人一人の保護者と必要に応じて個別に面談を行っていますか	8	5	0		
	9-2	家庭との信頼関係が築けるような連絡ノートの書き方をしていますか	9	2	2		
	9-3	保護者が子育ての悩みや心配事などを安心して話せる存在になるよう心掛けていますか	12	1	0		
	9-4	あなたの教育・保育に批判的な保護者に対しても、丁寧に意見や要求を受け止めようと努力していますか	9	4	0		
	9-5	保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで保育所全体で受け止めようとしていますか	12	1	0		
職員の連携 資質向上	10-1	職員会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか	9	2	1		
	10-2	保育所の内外における研修及び自己研鑽により専門性を高めるよう努めていますか	10	2	1		
	10-3	職員同士の信頼関係、保護者との信頼関係を深めるための努力をしていますか	12	1	0		
	10-4	自分の保育を振り返り、課題や問題点を見つけるとともに、その中で生じた疑問や悩みを上司や同僚に話すことができますか	9	4	0		
	10-5	一人一人の子どもの活動や姿を記録に留めることができますか	10	2	1		
保育教諭の 責務	11-1	毎日笑顔で子どもや保護者、他の職員に接するように心掛けていますか	13	0	0		
	11-2	子どもとよく遊び一緒に楽しんでいますか	11	2	0		
	11-3	子どもの発達に合った手作りおもちゃなど、創意工夫し、教育・保育に取り入れていますか。	6	6	1		
	11-4	子どもの自発性や発想を大切に、子どもが主体的に活動できるよう適切な援助や環境構成を心がけていますか	12	1	0		
	11-5	子どものこと、クラスの様子や出来事、保護者の様子など、適宜所長や副所長、主幹保育教諭に報告連絡相談をしていますか	12	1	0		
	11-6	子どもの名前は、〇〇さん 〇〇ちゃんなど丁寧な呼び方をしていますか	9	4	0		
	11-7	子どもの個人情報適切に扱うとともに、保育所内で知りえた事柄や情報に対して守秘義務を遵守していますか	13	0	0		
	11-8	子どもの発達や成長に関する記録や台帳は適切に記載し、保管されていますか	10	3	0		

総 評

今年度は「令和5年度 教育及び保育の内容に関する全体的な計画」を基にチェックリストを作成しました。

自ら教育・保育する中で、努力しましたか、心掛けましたか、配慮しましたか、～していますか、というように一年間を振り返りやすい設問にしました。ただ評価基準を示さなかったため、個々の基準でのチェックになっています。

また、チェックリストの中に、午前勤務のパート職員は、午前中しかいない為、評価ができない設問があり、c評価になってしまいました。例えば「クラスを担当した場合」というような前提条件が必要でした。このように設問に不備がありましたが、保育教諭が提出したチェックリストを数的に集計したものを公表します。

1. 総則

保育教諭のほとんどがa評価でした。

2. 子どもの発達

ほとんどがa評価でしたが、2-2についてはC評価もあったので、「幼児期のおわりまでに育てて欲しい姿」とは、どういう姿か研修会等利用し理解出来るよう進めていく。

3. 教育・保育目標学年の重点

ほとんどがa評価でした。

4. 養護に関するねらいと内容

ほとんどがa評価でした。4-4についてはb評価が4名いました。このことについては一人担任（以上児クラス）の為、また人数の多いクラスの為だと思います。

5. 教育に関するねらいと内容

5-5はa評価が多かったが、b評価が4名いました。5-10は全員がaで高い評価でした。「ありがとう」「ごめんなさい」は、友だち・保育教諭と生活する中でつながりを広げる一番の言葉だと思います。「ありがとう」「ごめんなさい」が必要な時に使えるようにしています。

5-13はa評価が多かったがb評価が5名。このことは午前勤務、一人担任クラス、クラスを担当していない等、一人一人の道具の使い方に向き合う場面が限られる為と考えます。

6. 保育の計画及び評価

ほとんどが a 評価です。6-2、6-3、6-4、6-5 に c 評価がありますが、パート職員が指導計画作成に参加していない為です。設問に「あなたが指導計画作成する担当者である場合」というような前提条件が必要でした。また 6-3、6-4 には b 評価があり指導計画作成にあたり、実際の子どもの姿・心情・意欲・態度に合っているか計画を立てる難しさがある。

7. 食育

ほとんどが a 評価でした。毎月の給食会議に 1 ヶ月のメニューの喫食状況を各クラス提出。子ども達の食事状況を給食職員、他の職員も把握できるようにしています。また野菜栽培、クッキングを行ない食育に繋げています。

8. 健康と安全

ほとんどが a 評価でした。8-3、8-5 は全員が a で高い評価でした。8-9 については b 評価が 5 名。不審者が侵入した場合に備えて、マニュアルに沿って年 3 回訓練をしているが、訓練結果は担当職員の報告書だけになっている。不審者訓練のある月は、職員会議等で話し合うようにして不審者の侵入に備える必要がある。

9. 保護者に対する支援

9-3、9-5 は a 評価がほとんどで、保護者の子育ての悩み事を受け止めることを心掛け保護者との信頼関係に繋がっている。

9-2 について c 評価が 2 名いましたが、パート職員の為家庭との連絡ノートを書く機会がない。

10. 職員の連携資質向上

10-2 について、職員の研修は年度途中より各研修案内が来てから、職員に希望を聞き参加していました。従って研修に参加する機会が限られました。今後は、年度初めに前年度の研修を参考に年間研修計画を立て、専門性が高められるようにしていく。

11. 保育教諭の責務

11-3 については b 評価 6 名、c 評価 1 名。発達にあつた手作りおもちゃが、十分に取り入れられていないと考えている職員が多かったので、次年度は、どのような物が必要か案を出しあう機会を設ける。

11-8 について 保管はしているが、内容別の仕分けができていないところがある。鍵のかかる場所に保管するほうがよい。書類の保管場所を検討する。

